

現場紹介・工事進捗状況

①



水位低下(放流)

昨年同様、今年もダム堤体の貫通作業のため、10/1～ダム湖の水位低下を行いました。現在、ダム湖に流れてくる水をそのまま下流に流しています。(自然調節方式)



上流側(ダム湖)の様子



現場紹介・工事進捗状況

②



(撮影:H26.10.30)

上流仮締切

放流を行いダム湖の水位を下げたため、設置していた仮締切が出てきました。ダム堤体の貫通を行うため、仮締切の中の水を抜き空にしました。

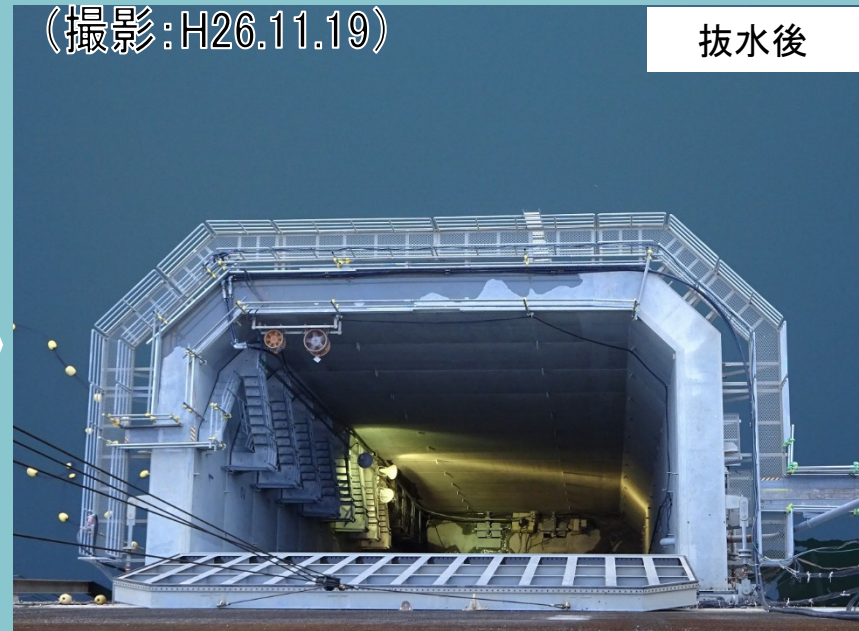
上流仮締切の中の抜水の様子(天端より撮影)



(撮影:H26.10.09)

(撮影:H26.11.19)

抜水後



現場紹介・工事進捗状況

③ (仮締切内)コア抜きの様子



(撮影:H26.10.21)

手前(仮締切内)に引き出す



クレーンで吊り上げる



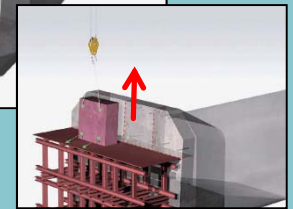
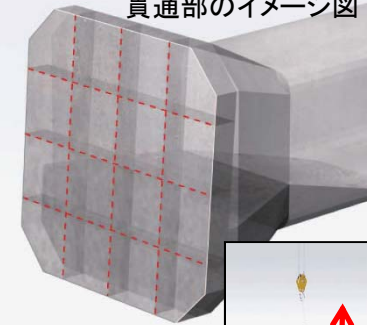
ダム堤体削孔(貫通)

昨年同様、残り2本の削孔も順調に貫通作業が行われました。貫通部分は、先に上流側から周りをくり抜き(コア抜き)、分割切断しダム堤体上のクレーンで1ブロックずつ運び出しています。運び出したコンクリートはブレーカーで砕き、小さくしてから現場から運び出しています。



削孔内の様子(発電2号)

貫通部のイメージ図



ダム堤体上へ運び出す



ブレーカー(削岩機)を使って破碎



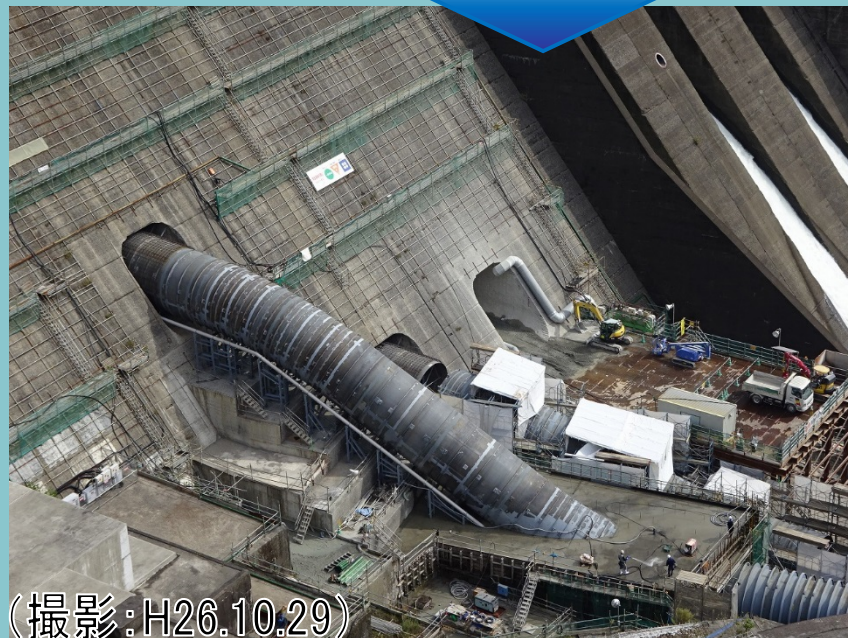
(撮影:H26.10.29)

現場紹介・工事進捗状況



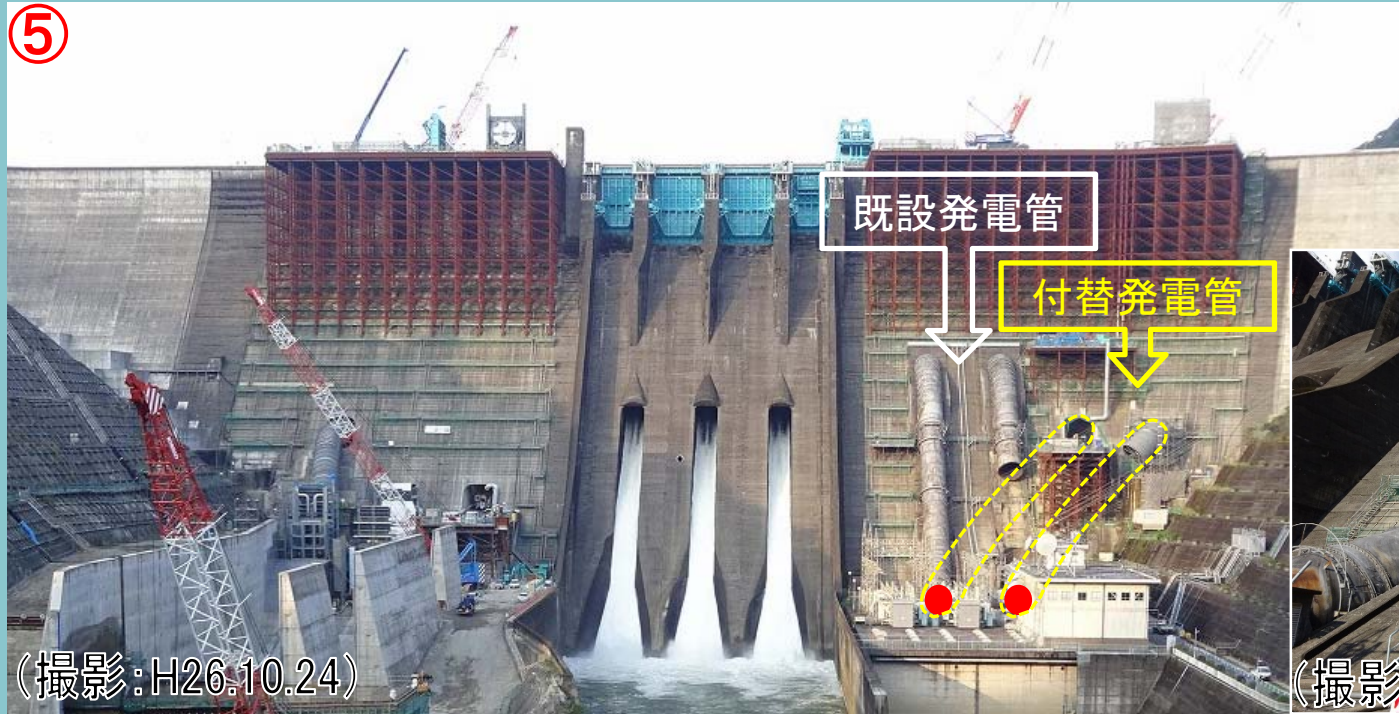
巻き立てコンクリート打設

6月中旬より行っていた、増設3号堤外管の設置が完了したので、その管の周りをコンクリートで覆う(巻き立てる)作業を行っています。

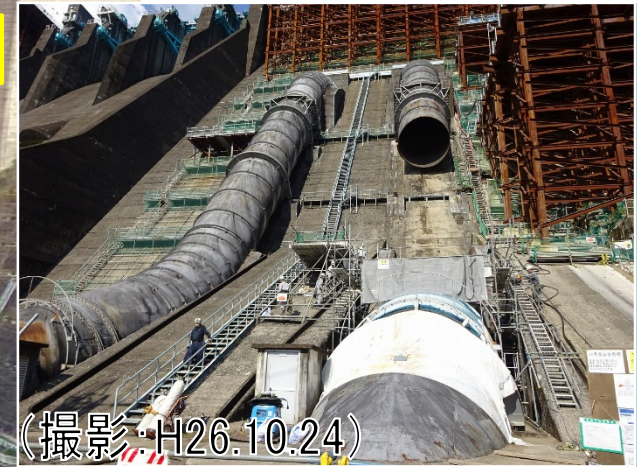


現場紹介・工事進捗状況

⑤



既設発電管撤去後の様子



撤去した発電管



分割して運搬



既設発電管撤去

付け替える発電管(堤外管)の設置を行うために、既設の発電管を一部撤去します。この後付替発電管を設置していき、残った下の管(赤印箇所)に繋ぎ合わせていきます。